

## 宮城ネットワーク株式会社 第38回番組審議会議事録

1. 日 時 平成22年 6月14日(月) 15:30~17:00

2. 場 所 仙台ガーデンパレス 4階 「亀甲」

3. 出席者 番組審議委員

間 庭	洋	委員長
大 杉	信 一	委 員
菅 野	浩 徳	委 員
志賀野	桂 一	委 員
渡 部	三妙子	委 員

欠 席 者

菊 池	毅	委 員
早 坂	美代子	委 員

(敬称略・あいうえお順)

宮城ネットワーク株式会社

代表取締役社長	小 林 俊 樹
(事務局)	村 瀬 誠
	森 涼 子
	堀 愛 真

(記録)	小 山 由 紀
	後 藤 晋

## I. 事務局 挨拶

### 代表取締役社長 小林挨拶

番組審議委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。私ども宮城ネットワーク株式会社は、4月15日より他グループ局と同様のJ:COMサービスの提供を開始させていただいております。インターネットサービスでは160Mbps(メガビットパーセコンド)コースの新設、ナンバーポータビリティ対応の電話サービス、またテレビサービスでは、VOD(ビデオオンデマンド)、インタラクTVといった双方向サービス、ブルーレイディスク機能搭載の新しいSTB(セットトップボックス)もご利用いただけるようになりました。また現在、泉区八乙女中央に新局社を建設中で、予定では7月の完成・8月中旬に転居を予定しております。その新局社からは新しい取り組みの番組を制作し、多方面に情報発信してまいります。本日はどうぞ忌憚のないご意見、審議をよろしくご意見申し上げます。

## II. 委員長 間庭氏 挨拶

昨今の各メディアでJ:COMについて取り上げられていて、精力的且つ積極的な企業展開をしておられ、またメディア間の連携も目を見張るものがあり、今後新たな可能性を強く感じております。その事も踏まえ、ケーブルテレビを軸としながら、様々な展望や地域との係わりも含め、審議委員の皆様からご意見をいただき、審議会の趣旨に適う会としていただきたいと思いますと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## III. 加入者状況報告 (平成22年3月31日現在)

※ 審議会資料①の通り報告致しました。

## IV. 平成21年度下期状況報告

自主制作チャンネル(アナログ4ch・デジタル111ch)について

※ 審議会資料②③の通り報告致しました。

## V. その他の報告事項等について

- ① 平成21年度下期編成について  
※ 審議会資料④の通り報告。
- ② 平成21年度下期生中継について  
※ 審議会資料④及び映像資料の通り報告。
- ③ 新サービスの開始について  
※ 映像資料の通り報告。

● 菅野 浩徳 委員

- ・前回の審議会で、スポーツに関する番組を希望する意見を挙げていたので、仙台 89ER のアウェー戦の生中継を早速実施していただき、大変有難かった。
- ・「仙台・青葉まつり」の生中継は、10 時間という長時間中継だったので、好きな時間に見られるという特性もあり、画質もよく大変良かった。
- ・新サービスもとても充実してきていて魅力的。特に見逃してしまった地域のコンテンツ等、VOD で配信してもらえると良いのではないかな。
- ・「HOMETOWN 大好きだっちゃ!!」の泉中央の中継ポイントでのポスターなどの掲示物を見せる際、光の反射などで見辛い事がある。毎日中継ポイントを移動して行えないものだろうか。

● 大杉 信一 委員

- ・ナンバーポータビリティなどの利点から、早速電話サービスに加入しました。IP 電話とは違い、フリーダイヤルでも利用でき満足しています。
- ・自宅の配線の老朽化などもあり、視聴できないチャンネルが出てきている。周辺の世帯でも同様の現象がみられると伺った。新サービスへの切り替えに問題があるのでしょうか。
- ・新サービスの料金体制が、以前のサービスより全体的に上がっている。もう少しサービスの料金をバラエティ豊かにしていただけると、選択肢も増えるので期待します。
- ・工事作業によるインターネット回線の不通は、仕事で利用している者にとっては 30 分でも大きい。早いうちにアナウンスをするべきではないだろうか。
- ・STB、モデム、電話サービスの機器などサービスを増設する毎に、周辺機器が増える。もう少しコンパクトにまとまらないものだろうか。

● 志賀野 桂一 委員

- ・仙台 89ERS のアウェー戦の生中継はファンにとってはとても嬉しいコンテンツでした。可能であれば、今後も同様の番組に取り組んでいただきたい。
- ・「みちのく YOSAKOI まつり」はケーブルテレビならではの長時間中継で、更にコンテンツのステージに絞った放送は、興味を持って見られるのでとても着眼点が良かった。
- ・医学系番組は、非常に分かり易くなっており、改善が見られる。
- ・「HOMETOWN 大好きだっちゃ!!」は世之介さんやワッキー貝山さんなどの軽妙なトークで、とても見やすい番組に仕上がっている。情報番組は出演者によって番組のカラーが変わってくるので、今後の為に出演者を育てるような番組制作をされてみてはどうか。
- ・現在開催されている「仙台国際音楽コンクール」は、出場者は課題曲を演奏するのではなく、30 分間の楽曲の構成もするので、当然構成力も試されるのでとても個性的で面白いステージが楽しめる。全国からの来場者もあり、コンテンツとして活用してみると良いのではないだろうか。
- ・カスタマーセンターへの電話がつながり辛いのは何故でしょうか。

● 渡部 三妙子 委員

- ・「HOMETOWN 大好きだっちゃ!!」では、一人の価値観で毎日の番組が進んでいるのではないかと感じる。また番組コーナーの「ペ出口調査」では、調査結果に対してのコメントが浅いのでは。もっと掘り下げたコメントを期待しています。泉中央の中継ポイントは、番組の中継をする事によって居心地のいい場所にならなくてはいけないのではないのでしょうか。インタビューに答える一般の方の受け答えで、どのように思われているのかが伝わる。好意的な受け答えの方が少ないと感じてしまう。
- ・「旅ナビ☆トラベリングガール」が凄く面白くなっている。テンポも展開も良く、出演者の2人の個性が出ていた。
- ・以前、コミュニティアテンダントの方に自宅に来ていただいて、録画の仕方など説明して頂き大変助かった。とても丁寧で分かり易く身近に感じた。新サービスはとても魅力的なものが多いが、高齢者にとっては「難しい＝もういい」になってしまうのではないのでしょうか。そういう年代の方たち向けに、より分かり易くご案内いただけると、もっとJ:COMサービスが広がっていくのではないかと感じる。
- ・スタジオセットのテーブルが微動するので、視聴していて不快に感じる。
- ・番組を待つ時代ではなく、番組を選ぶ時代になってきていると実感している。選ばれる番組、魅力ある番組の制作が求められると思いますので、積極的に取り組んで頂きたい。

● 間庭 洋 委員長

- ・長崎の「長崎さるく」に代表されるような、地元の“街歩き”企画などを番組で取り上げていただけないだろうか。地域の観光協会や市町村との連携を図り、仙台の観光資源の発見、発信をしていただきたい。またそのコンテンツをJ:COMグループ内各局のコミュニティチャンネルをはじめFOD(フリーオンデマンド)等による流通を通して、地域貢献や一つのビジネスモデルとなりうるのではないかと考えている。東北は青森の新幹線開業や平成25年の宮城県の大型観光キャンペーンの実施など、宮城だけでなく東北全体に観光PRに力を入れている。是非積極的に取り組んで欲しい。

## ○ 宮城ネットワーク事務局

- ・仙台 89ERS のアウェー戦の中継に関しては、富山ケーブルテレビ制作の中継を放送しました。プロ野球やJリーグと違いbjリーグ自体がなるべく露出をしたいという事で、放映権に関しても富山ケーブルテレビとbjリーグ間で発生したのみで、コストは映像と音声のインターネット通信費用のみでした。放送時間がゴールデンタイムの時間帯で、スポーツ中継も初の試みでしたが、視聴者プレゼントの反響も良く、一つの成功事例として今後に活かしていきたいと考えております。
- ・「HOMETOWN 大好きだっちゃ!!」では、現在中継レポーターとして宮城大学の学生の方に、週に一度出演していただいております。将来テレビというメディアで活躍したいと考えている方など、番組出演を通じて育成していきたいと考えております。
- ・「仙台国際音楽コンクール」は、非常に魅力あるコンテンツだと捉えております。権利の問題などクリア出来れば、私どもも積極的に取材していきたいと思っております。
- ・双方向サービスは新サービスの導入が必要になります。既存のサービスにご加入いただいているお客様のサービス切り替えについては、一棟ずつスタッフが建物の調査を行っております、双方向サービスの導入準備を進めておるところです。
- ・「HOMETOWN 大好きだっちゃ!!」の中継に関しては、ケーブルテレビの上り回線を使用しているため、別途中継地点を新設するには、建物の工事と工事の許可が都度必要になるため、現時点での中継地点の増設は難しい。
- ・認知度向上の為に開始した定点中継でもありますので、認識・露出のされ方を今後更に検討していきたいと考えています。
- ・新サービスの導入に伴いまして、地域毎にサービスの停波をしての導入工事を実施いたしました。お陰様で6月上旬をもちまして、全地域工事完了しております。ご迷惑、ご不便お掛けしまして申し訳ございませんでした。
- ・サービス周辺機器に関してはリモコンも含めまして、私どもでもグループを挙げて研究・開発に取り組んでおるところでございます。ご面倒お掛けしますが何卒ご了承下さい。
- ・新サービスへの移行に伴いまして、お客様からのお問い合わせが多数寄せられ、電話がつながり辛い状況が続いております。人員の補充や、お客様への分かり易いご説明のトレーニングなど、ご迷惑をお掛けせぬよう取り組んでおるところでございます。
- ・VODのサービスにおいて、コミュニティチャンネルで放送した番組をコンテンツとして盛り込んでいきたいと考えておりますが、出演者や音楽などの各権利の面でケーブルテレビにおいて放送する権利の許諾とVODなどインターネットを介しての放送に係わる権利の許諾とでは共通ではない部分もありますので、VODで配信したくても配信できないといったコンテンツが発生してきている。今後、既存のコミュニティチャンネルを最大限に活用しながら、ご視聴いただける魅力ある番組制作に取り組んでいきたい。
- ・今後は「好きな時に好きな番組を」から「好きな時に好きな場所で」という時代が来るのではないかという所も念頭において、番組の制作を考えております。
- ・VODサービス内のFODでは、自主制作の番組を数タイトル視聴できるようにしております。今後「放送後の番組はFODで。新作はコミュニティチャンネルで」といった、住み分けをしていきたいと考えております。
- ・4月から、J:COMグループ全局生放送番組を放送しています。その他にも、編成に全局共通枠があり、「旅ナビ☆トラベリングガール」の放送を実施しております。共通枠へ、多くの自局コンテンツの露出をもっとしていきたいと思っております。

- 地域密着型企业として取り組んで参りましたが、皆様のご意見を頂戴し、一地方の局としてばかりでなく、グループ全体として全国に広がるネットワークを活かし、情報を受信するばかりでなく発信していく事、これもひとつの地域密着となり得るのだと感じております。
- J:COM グループとなり、地方で出来る事、中央で出来る事、どちらも可能となったと認識しております。しかしながら、地方で出来る事にしっかりと取り組み、全国へ発信できるコンテンツの制作に力をいれていきたいと考えております。